

# 学童部徹底事項(県連通達事項を含む)

座間市野球協会学童部(2010.2.13)

(2012.3.3 改訂) (2013.1.27 改訂)(2014.2.1 改訂)

## ◎市内大会関係

1. 試合開始予定時刻 1 時間前に大会本部にて受付を済まし、攻守を行う時間を確認する。(正当な理由無く遅れた場合、棄権とみなす。) 尚、前の試合の進行状況により早まることもあるので、前の試合の状況に留意すること。
2. 試合開始予定時刻 30 分前 (受付で確認した時間) に攻守を行う。監督・主将は記入済みメンバー表 2 部(アナウンスがある場合は 3 部)と登録票を用意し待機すること。原本は本部用として必ず提出のこと。
3. 登録票は各大会毎に更新する。登録時期は春 Re、夏 Re、春 Jr、は年初登録時、その他は監督主将会議で登録する。また、大会途中での追加変更は認めない。但し、夏季 Re 大会は 4 月 20 日まで、ジュニア大会は大会 1 日目の 7 日前まで追加登録を認める。
4. メンバー表には出場予定の選手全員を記入しなければならない。記入のない選手は試合に参加することはできない。メンバー表に記載された選手は途中からでも試合に参加できる。また、試合途中でのメンバー表の変更は認めない。尚、先発選手にはひらがなでルビをふり、控え選手名はひらがなで記入する事。
5. 主将は主将会議に、試合で着用するユニフォームを着用して臨むこと。なお、ユニフォームを変更する場合は、学童部を通じて協会(規律審査委員会)に届け出て事前に承認を得なければならない。
6. 監督・コーチ(30 番、29 番、28 番)は、選手と同一の衣装を着用しなければならない。また、監督、コーチ以外でベンチ入りする者は、練習用を含めいかなるユニフォームも着用は認めない。これらに違反する者はベンチ入りを認めない。記録員・引率者もチームの帽子を着用すること。
7. ユニフォームについて、上着は Tシャツのように見えるものは使用しないこと。また、ズボンには裾にゴムの入っているものを使用し、いわゆるエクストラパンツを使用してはならない。
8. 投手のグラブは、白色・灰色・多色(ひも部分を含む)のものを使用してはならない。(指部分が白色に見えるものも不可とする。)(白色・灰色以外の単色とする。)
9. スパイクは統一のものを使用すること。ただし、メーカーの違いによるラインの形状等の違いは差し支えないものとする。(銀色は白色と見なす。)
10. 保護用グローブ(手袋)の使用は、捕手、打者および走者に認めるものとし、白または黒の単色とする。
11. 毎回先頭打者とコーチャーは、円陣に参加せず、速やかに所定のポジションに就くものとする。(先頭打者は、次打者席(ネクストバッターサークル)で待機し、球審の指示を待つこと。)
12. グラウンド内での素振りは、認めない。(危険防止)
13. グラウンド内でのノックは、認めない。但し、試合前のシートノックを実施する場合がある。
14. 試合中の守備練習に、10 人目の選手が加わることは、認めない。
15. ベンチからのサインはタイミング良く且つ短く行うこと。打者はベンチのサインを見る時を含め打者席を外さないこと。
16. 試合会場での駐車に関しては、各大会指示に従うこと。  
栗原遊水地での大会では、許可証掲示車両以外駐車場の使用を禁止し、周辺道路でも指定場所以外の駐停車を禁止する。なお、当該チームは大会協力員 1 名を車両整理員として派遣するものとする。また、車両での来場は座間市役所第 2 駐車場を利用するようチーム保護者へも周知徹底すること。  
相模川グラウンドでは、応援の車両も含めて相模原側に駐車してはならない。  
また、その他の大会会場でも近隣に迷惑のかかる行為を行ってはならない。  
違反車両があった場合はチーム責任とし、ペナルティーを科すものとする。
17. 相模川グラウンド(C 面, D 面, E 面)での試合の場合、緊急避難用(悪天候・体調不良など)とし

て車両3台（駐車券を発行する）の待機を認める。

18. 必要に応じてベンチ内でのテント使用を認める。ただし、大会本部に確認すること。
19. ベンチ内での傘の使用を禁止（危険防止のため）。

#### ※マナーについて

20. 応援席(者)の目に余る応援(相手に対するヤジの類や、自チームのプレイヤーに対する作戦的指示等)はチームの責任で自粛を要請する。即ち学童野球の精神に相応しくない行為は指導しないこと。(例えば、バッターボックスでの位置や守備位置の指示、或いはリードの幅、走塁の方法等々に対する事実上の指示は、作戦的指示に当たると考える。)審判員及び本部より注意を促すが、止まない場合は退場処分とする。
21. 試合中に監督・コーチ等がベンチを離れる行為の禁止。(正当な理由無くして一度ベンチを離れた者は、その試合中はベンチに戻ることができない。)
22. ベンチ内において電子機器の使用は禁止する。
23. サングラスの使用は、原則禁止とする。

#### ※審判員に関する問題

24. 試合中審判員に対する暴言およびこれに類する行為の厳罰化。(「競技運営に関する注意および審判長注意事項」13)
25. 審判員が判定する前に、「ジャッジを誘導する行為」の禁止。例「アウト」「セーフ」「入った」「OK」等々。(即ち、学童野球の精神に相応しくない行為を禁止する。)

#### ※協力を要請する行為

26. 攻守交代時のプレイヤーの駆け足の徹底。
27. 捕手の防具付けに際してベンチが協力すること。
28. 各回の投球練習終了後に捕手が野手に対し声をかける際、内野手(投手を含む)が一斉に外野へ向かって向きを変え、声をかける行為の自粛。また、捕手は投手に返球する際、キャッチャーボックス内で行うこと。
29. 試合の進行を早めるため、投手の練習球数を状況により減らす場合がある。(規則 8・03)
30. 審判員の「ラストボール」の宣告後、一塁手が右翼手へボールを送球しライトゴロの練習を行う行為。
31. 特に定めのある場合を除き応援者は、ベンチより外野側で応援すること。

#### ※シーズンオフの設定

32. 12月15日から翌年2月15日までの間、試合及び試合形式での練習を禁止する。行ったチームにはペナルティを科すものとする。

#### ◎県大会関係

1. 主将会議出席時、主将は試合用ユニフォームを着用すること。(ユニフォーム確認のため。)
2. 試合開始時間の1時間前までに、会場に集合すること。
3. マクドナルドのエンブレムは、マクドナルド大会以外では外すこと。
4. 出場チームは、大会要項等を熟読し大会に臨むこと。また、会場によっては駐車事情が良くない会場もあるため注意事項を遵守すること。
5. 県大会等上部大会出場チームは抽選会組合せ、日程、試合結果を当日の内に学童部長に連絡し、後日、報告書を作成し提出すること。
6. 県連盟に於いて、投手の投球回数、投球数の制限が検討されている。そこで、各チームにおいては、投手、捕手について複数の選手の養成を行うこと。